

Pick Up News 161名(建築学部1期生)を迎えて建築学部がスタートしました。新入生は4月3日に入学ガイダンスで来校、わずかの時間でクラス別に集まり解散。2~4年・大学院生は1回も大学に来ることなく現在に至っています。移動自粛が求められる中、皆さんには自宅待機をお願いしており、27日からの授業も当面(少なくとも5回)は遠隔で行われます。皆さんにとっても、教職員にとっても初めての経験です。その中でも教育の質を落とすことなくいかに実践するか、日々試行錯誤しながら準備しています。皆さんには不自由をかけますが、一緒に乗り切りましょう。ウイルスは自らは動きません。人が放出し、もの・人を介して他者にうつす。人が動かず、しゃべらなければ感染伝播はない、という単純な仕組み。しかし、とても難しい要求ですね…。どう乗り越えるか、人類が試されているのだと思います。

菊田貴恒 准教授 (建築材料)

2020年4月から建築学科に加わりました、菊田貴恒です。学部、修士課程の6年間を過ごし、自分の青春がたくさん詰まったこの八木山キャンパスに建築学部の始まりと同時に戻ってこられたことを大変嬉しく思っています。専門は建築材料学ですが特にセメント系材料の高性能化・高付加価値化というテーマで研究に取り組んでいます。セメント系材料は古くから使われている基本的な建築材料の一つですが、さまざまな先端的な材料と複合化させることで、「鉄のように伸びるコンクリート」など想像を超えるような新しい性能を有することも可能です。セメント系材料の新たな可能性を冒険心溢れる学生の皆さんと一緒に探求していきたいと思えます。

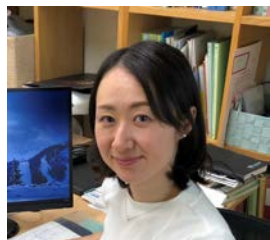


【建築学部スタート！】

建築学部建築学科が開設。161名の新入生を迎えました。入学式はありませんでしたが、入学ガイダンスとして4月3日に集まりました。全員マスク着用で顔合わせ...とはなりませんでしたが、ひとまずスタートを切ったところです。

【建築学部へ新教員着任！】

建築学科では新たに2名の教員を迎えました。建築材料を専門とする菊田先生と建築生産・構法を専門とする佐々木先生です。これからの授業でお会いします。研究室も17研究室となり、さらに学びの世界が広がりました。今年の3年生研究室配属から研修も担当していただきます。建築学部として、充実した教育・研究を提供することができる基盤が整いました。



佐々木留美子 講師 (建築生産・構法)

「国内外の建築生産に関わる社会の仕組みを明らかにする」
これまで、建築をつくりだす過程での関係者の役割や材料・機器の決め方、それに影響を与える法律や慣習など、社会の仕組みを研究してきました。日本だけでなく、東南アジアや南アジア、中東やヨーロッパなど、様々な国を訪れ、現地の技術者や技能者の話を聞き、資料を集め、調査を行います。日本では当たり前のことが、海外では全く通じない場合もあります。反対に、海外を知ることで改めて日本の良さを教えられることも多いです。様々な地域の、建築を取り巻く社会の仕組みを、一緒に勉強していきましょう。

【2020年度の建築学科の体制】今年度は以下の体制で運営します。必要に応じて、各担当教員に連絡・相談して下さい。

- 建築学部長・学科長・専攻長：石井敏 教授
- 学科長補佐：竹内泰 教授(大学院担当)・船木尚己 教授(学部担当)
- 教務委員(授業や単位の関係)：不破正仁 准教授
- 学生委員(学生生活・奨学金等の関係)：曹淼 講師
- 就職委員(就職関係)：堀則男 教授
- サポートセンター(建築CAD室や建築学科全般に関わる各種相談)：小関公明 助教・笹本剛 助教
- 建築学科事務室(教務学生課)：佐々木史衣



【誰もいないキャンパス】いつもなら多くの学生で溢れるキャンパスには誰もいません。早くここに学生が集い、笑顔溢れ、賑やかな時間が戻ることを願うしかありません。



【WEB面談】1年生のWEB面談が行われています。担任の先生と遠隔ツールを用いながら、顔を見ての面談。早く対面でコミュニケーションが取れる日がくることを願います。

Pick Up Lab. 新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大しつつありますが、建築分野では、換気が最も重要な対策です。健康、安全、かつ快適な環境をつくるのは建築設備分野の仕事です。許研究室は環境・設備分野に所属しており、4年生11名と院生1名、計12名で研究活動を行っています。4月6日に初めてLINEを活用し、オンラインゼミが行われました(写真1)。今年では、建築情報モデリング(BIM)技術の応用、環境計測・省エネルギー装置の開発に興味のある学生が多いです。既にBIMソフトDynamoの勉強に取り組んでいる学生もおり(図1)、良い研究成果を期待しています。

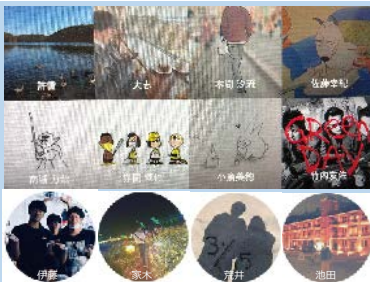


写真1 オンラインゼミの様子

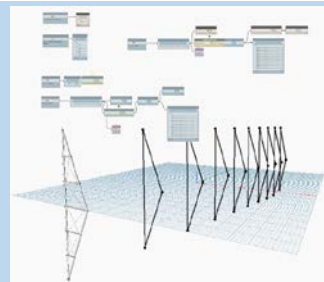


写真2 BIMソフトDynamoの勉強



3年 多田 遙香 さん
花巻東高校 出身

Pick Up Student 早いもので大学生活も3年目に入り、私は今年からシステムコースに進み、より専門的なことを学びたいと思っています。住宅の設計に興味があり、この大学に入学した時は普通科出身だったこともあって慣れない製図やCADの扱いに苦労しましたが、先生方や友人の助けがありなんとか乗り越えることができ、建築への理解が深められました。また設計では自分の考えているものが形になる楽しさを知りました。資格取得や課外活動など東北工業大学では建築を学びたい気持ちをサポートしてくれる環境があると思います。今年は研究室配属もあり、まだ迷うこともありますが夢の実現に向けて自分の学びたいこと進みたい道についてしっかり考えてきたいと思っています。



2年 川島 優輝 くん
塩釜高校 出身

Pick Up Student 入学してから1年が経ち、題名を付けたら「チャレンジ」です。建築学科が忙しい事は重々理解していましたが、取って部活動やアルバイトを行うことで、常に何かを求め行動してきました。勉学は得意でなく、建築の知識は皆無と断言していたレベルでした。そこで私は、建築学科出身の同級生や先輩、教授との意見交換を行い、建築の奥深さや本質が分かった気がします。つまり、コミュニケーションによって世界観を変えました。部活動では全国大会ベスト8の成績を収め、強調性の難しさを学び、両立の楽しさを感じました。両立を継続する事で知る結果は、今後の自信となっています。2年生では、さらなる自分の可能性を見つけていこうと思っています。